

## 第2位

### 三和、伊深などを襲った 8.17 災害

昭和 43 年（1968 年）8 月 17 日（土）



● 8.17 災害。17 日から 18 日未明にかけて集中豪雨が襲い、三和町の川浦地区を中心に大きな被害が発生。市内の雨量 387 ミリ。死者 7 人

#### 50 歳からのひとこと

- ・真夜中に雷雨、橋の崩壊、床下浸水などを体験し、初めて自然の恐ろしさを知った。
- ・私は中学校 2 年生で野球部のピッチャーでした。女房役（キャッチャー）だった先輩の死、後輩の女生徒の死…。この災害での死者は 7 人。とてもショックでした。

## 第1位

### 太田、古井を襲った 9.28 災害

昭和 58 年（1983 年）9 月 28 日（水）

#### 50 歳からのひとこと

- ・清流の木曽川が一変して市の中心部を襲い大きな被害を出した。大正 2 年生まれの父も生まれて初めてのことと油断していた。
- ・市街地のすさまじいほどの被害状況を目撃してショックを受けました。
- ・消防団員だった自分も出動しましたが、太田が水害で中には床上浸水も…信じられなかった。1 週間仕事に行けず、市のため住民のために復興活動をしました。
- ・太田・古井地区が水につかるなんて思ってもみませんでした。このようなことが 2 度とないことを願っています。

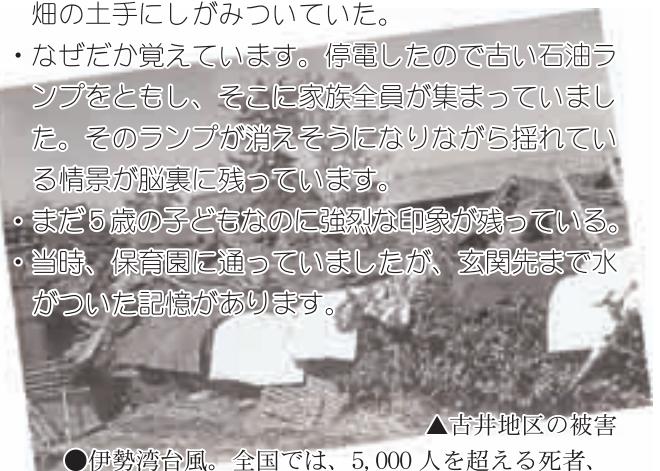
## 第3位

### 台風 15 号（伊勢湾台風）来襲

昭和 34 年（1959 年）9 月 26 日（土）

#### 50 歳からのひとこと

- ・祖母と母と 3 人、コンクリートに囲まれた風呂場で台風が過ぎるのを待った覚えがあります。朝起きたら前の家が倒壊していたので怖かった。
- ・夜中、家がきしむ音を感じ、外に出て家族みんな畠の土手にしがみついていた。
- ・なぜか覚えています。停電したので古い石油ランプをともし、そこに家族全員が集まっていました。そのランプが消えそうになりながら揺れています。情景が脳裏に残っています。
- ・まだ 5 歳の子どもなのに強烈な印象が残っている。
- ・当時、保育園に通っていましたが、玄関先まで水がついた記憶があります。



● 伊勢湾台風。全国では、5,000 人を超える死者、行方不明者を出しました。市における最大瞬間風速 45 メートル。市内の被害：死者 6 人、全壊住宅 194 戸



避難する人々

## 第7位

### 東京オリンピック開会。美濃加茂市出身者として渡辺保夫、木崎正子選手が出場

昭和 39 年（1964 年）10 月 10 日（土）

#### 50 歳からのひとこと

- ・姉の友人の兄がレスリングで出場。テレビにくぎ付けでした。
- ・当時 10 歳、オリンピック開催に伴い、開会式を家族そろって見るために学校が休みになったことが、子ども心にとてもうれしかった。
- ・小学校でオリンピックの開会式を見るなど、日本中が沸き立っていました。
- ・この年、カラーテレビを買う家庭が多くなった。

## 第5位

### 平成記念公園「日本昭和村」が山之上町と蜂屋町の丘陵地にオープン

平成 15 年（2003 年）4 月 16 日（水）

#### 50 歳からのひとこと

- ・美濃加茂市の観光・交流の拠点になることを願っています。
- ・美濃加茂市初の全国規模の公園ができた。



▲テープカットの様子



## 第4位

## 第8位

### 飛騨川バス転落事故で行方不明者 104 人

昭和 43 年（1968 年）8 月 17 日（土）

#### 50 歳からのひとこと

- ・飛騨川の水位を下げ、バス転落事故の犠牲者を捜索している人々の姿がよみがえってきた。
- ・当時全国的なニュースとして報じられた事故で、飛騨川沿いに住む私たちの身近なこととして記憶している。



▲今渡ダム下流側の検索の様子（8 月 25 日）

## 第6位

### 中濃大橋完成。竣工式が行われる

昭和 44 年（1969 年）4 月 6 日（日）

#### 50 歳からのひとこと

- ・中濃大橋開通により、東名、名神高速および名古屋空港が直結となった。人、物の輸送に対応できることで優良企業の誘致が可能になり、本市の経済活性、若者の定着の基礎ができた。



▲工事中の中濃大橋（S43）

### 美濃加茂高校が中濃地区で初めて甲子園に出場

昭和 55 年（1980 年）8 月 12 日（火）※初戦

#### 50 歳からのひとこと

- ・甲子園出場は他地域のことと思っていたが、地元から出場したのには感動した。
- ・美濃加茂市の野球を全国に広めた。